



▲雨天のため室内でクイズラリー



▲カローリング

5月7日(日)内田スポーツDayが開催されました。雨天のため、ウォークラリーは中止となりニュースポーツ「輪投げ」「ラダーゲッター」「カローリング」「ポッチャ」を体験しました。カローリングは、氷上で行うカローリングを室内で手軽にできるように考案されたニュースポーツです。底面に3つの車輪がついたジェツ

トローラーと呼ばれるプラスチック製の円盤をストーン代わりに用いて、ポイントゾーンに投げ中心に近いチームが勝ちとなります。子どもから高齢者まで年齢・性別・体力に関係なく気軽に楽しめるニュースポーツです。参加された方は、楽しく体を動かしてプレーすることができました。館報編集委員 前澤 芳成

内田スポーツDay



令和5年7月1日現在

世帯数	1,013 戸
人口	2,325 人
男	1,154 人
女	1,171 人

今年初めての28度超えの猛暑を記録した5月17日(水)、公民館の環境学習会・自然観察会に参加してきました。内容は、「サントリー天然水北アルプス信濃の森工場」見学・「白馬岩岳マウンテンリゾート」散策でした。工場見学では、目前にある3000メートル級の北アルプスの眺望の美しさに感動し、豊かな自然に囲まれた工場では、森と大地の力を借りて20年間という長い歳月をかけ天然水ができるまでの工程を学び、機械化された製造ラインの見学をしました。田植えの始まった田園風景



環境学習会「北アルプス信濃の森工場」見学 自然観察会「白馬岩岳マウンテンリゾート」散策



第1町会 古幡 幸子

を眼下にゴンドラに乗り、白馬岩岳マウンテンリゾートに到着。内田から見る白馬連峰とは違い、目の前に新緑と残雪の残る雄大な白馬三山が最も美しく望める絶景スポットで、風が吹き抜け、鳥がさえずり、自然を五感で思いっきり感じ取って、心身のリフレッシュができました。何よりいま、SNSで話題になっている「ヤッホーイング」アルプスの絶景に飛び込むようなブランコに乗ったことが、この年になり素晴らしい思い出になりました。



▲活動の様子(馬場家住宅門前)



歴代の協議会員の活動の積み重ねが今回の受賞につながりました。

内田地区農村女性協議会 会長 中島 智壽子

市の緑化活動に長年貢献したことが評価され、内田地区農村女性協議会が市緑化推進委員協議会から表彰されました。

内田地区農村女性協議会が表彰されました!!

ホタル学習と観察会

6月23日(金)、内田公民館において「ホタル学習と観察会」が行われました。小雨が降るあいにくのお天気でしたが、子どもから大人まで38名が参加しました。

最初に「松本ホタル学会」代表の藤山静雄先生(信州大学特任教授)が「ホタルが住める良い自然」と「ホタルも住める良い自然」の違いについて説明してくださいました。「ホタルを含めた多様な生物が共存できる良い自然環境を残すことが大切」とのお話でした。



▲藤山先生のお話を聞いた後、塩沢川へ

その後、ホタルの観察のため、塩沢川に移動しました。雨の影響で数は少なめでしたが、川の中の草むらにホタルを見つけることができました。



6月27日(火)「第4回内田親睦ゴルフコンペ」(主催:内田公民館・共催:内田町会連合会)が松本ントリークラブで開催されました。

当日は絶好のコンディションに恵まれ、さわやかな風の中、珍プレー、好プレー続出の楽しい一日となりました。

結果は以下の通りです。

- 優勝 伊藤 宗登さん(第3町会)
- 第2位 丸山 省吾さん(第6町会)
- 第3位 佐藤 兼平さん(第8町会)
- ベスト 内川 吾郎さん(第9町会)

館報編集委員 上山 祥子

街めぐりウォーキング

6月16日(金)松本市街地散策の「街めぐりウォーキング」が行われました。これは、アルピコ交通内田線の路線バスを利用し、松本市街地を散策するというイベントです。

本年は、「石井味噌」「まつもと市民芸術館」「はかり資料館」「旧三松屋蔵屋敷」を巡りました。

「味噌蔵見学」では、健康情報をメモする姿があり、「はかり資料館」では、自分の体や感覚を使い、重さや長さを「はかる」体験をしました。



▲味噌蔵見学



▲まつもと市民芸術館トップガーデン

牛伏川「水遊びの広場」草刈り

6月19日(月)、国重要文化財・牛伏川階段工のすぐ下流にある「水遊びの広場」周辺の草刈りの奉仕活動に取り組みました。

新旧の町会連合会役員を中心に15名が参加し、約2時間の作業に汗を流しました。



▼暑い中、ありがとうございました!
▼草がなくなり、子どもたちが利用しやすくなりました。



内田公民館長 丸山 明良

内田住民はもとより、訪れる多くの人々が快適に利用できる環境づくりを目的に地元町会として整備活動を行っております。

つれづれ編集記

「薪活」(まさかつ)という言葉をご存じでしょうか。薪を集める活動を総称して薪活といえます。薪ストーブは暖房器具であり、暮らしの楽しみの一つでもあります。遠赤外線による輻射熱の効果で心も体も芯から温まりますのでおすすめです。年間の半分は暖房期間となり、薪の確保が重要になってきます。

そこで「薪活」の出番です。木の伐採作業現場での声掛け

第1町会 前澤 芳成